

あなたにも
できる
エスディージーズ
SDGs



第8回
コミュニケーションは
「やさしい日本語」で!

「余震が発生する可能性がありますので、ただちに避難してください!」

「すぐに逃げてください。この後また揺れるかもしれません!」

この2つの文章を比べた時、どちらの方が外国人に伝わりやすいでしょうか?

ほとんどの場合、2つ目の文章の方が伝わりやすいでしょう。このような簡潔で分かりやすい日本語「やさしい日本語」が今注目されています。

この取り組みは、「誰一人取り残さない」世界の実現を目指し、SDGsの3番目の目標「すべての人に健康と福祉を」や10番目の目標「人や国の不平等をなくそう」の達成につながるものです。外国人とコミュニケーションをとるには、外国語で

話しかけなければならないと思われるがちですが、実際のところ、必ずしもそうとは限りません。日本に観光などで来ている外国人には、外国語で話しかける方が好ましいかもしれませんが、地域で暮らしている外国人には、やさしい日本語を理解できるという人がたくさんいます。

やさしい日本語の文章は、3つのステップで作ることができます。ステップ1は、短文・単文にすること。ステップ2は、やさしい言葉に変換すること。ステップ3は、やさしい文法に変換することです。人と人とを結ぶ温かいつながりは、コミュニケーションから。「誰一人取り残さない」社会に向け、共に暮らす外国人との共生のために「やさしい日本語」にぜひ取り組みましょう。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



【単語・文を「やさしい日本語」にするステップ】

ステップ1 短文・単文にする

〈例〉ただちに避難してください

→ 「ただちに／避難して／ください」



ステップ2 やさしいことばに変換する

〈例〉・ただちに → すぐに (具体的に)
・避難して → 逃げて

→ 「すぐに／逃げて／ください」

※「逃げろ」など「〇〇しろ」という命令形よりは、「〇〇してください」というお願いする文の方が、日本語を学習している外国人にとって分かりやすいです。

ステップ3 やさしい文法に変換する

〈例〉余震がくる可能性があるため、ただちに避難してください

→ 「すぐに／逃げて／ください／
この後／また／揺れるかもしれません」

詳しい説明は「やさしい日本語活用の
手引き」をご覧ください。

